

第5次小平町社会教育
中期計画メインテーマ

つなげよう 学びの心 輝く未来へ

目指す姿「笑顔が広がるまち」「共に学び合いができるまち」「豊かな心を育むまち」
「心身ともに健やかなまち」「自立した活動ができるまち」



おびらっ子クラブ「森林教室」

おびらっ子クラブ「森林教室」が、7月29日(木)文化交流センターで行われ、クラブ員19名が参加しました。雨天のため、予定していた森林散策は中止となりましたが、木の粘土(乾くと木になる)「もくねんさん」を使った工作に挑戦しました。

クラブ員は留萌南部森林管理署の職員3名を講師に迎えて、木材から製造された「もくねんさん」の性質や工作方法について教えてもらい、イルカやカブトムシなど思い思いの生物の型を取って乾燥させました。乾燥した作品はどうなっているかな、楽しみです。ご協力頂いた留萌南部森林管理署のみなさんありがとうございました。



番屋ライブ「おびJAZZ 中牟礼貞則デュオ」

小平町文化交流センターサポーターズクラブ主催の『番屋ライブ「おびジャズ 中牟礼貞則デュオ」』が、7月29日(木)午後6時から旧花田家番屋で開かれ、町内外から来場した40名のファンが演奏を楽しみました。

中牟礼さんは昭和27年プロデビューしてから、ジャズ界の第一線で活躍したギタリストで、今回は札幌市出身のベーシスト金澤英明さんと来町しました。中牟礼さんは「国の重要文化財として歴史ある場所で演奏できるのは光栄です」と挨拶し、「オール・ザ・スイングス・ユー・アー」、「黒いオルフェ」などを中心に、一時間半にわたって演奏しました。

観客は、やん衆たちが寝起きしていた「寝台」と呼ばれる広間から演奏を楽しみ、一曲ごとに拍手を贈って会場を盛り上げていました。



姉妹都市少年少女交歓交流事業

～楽しい思い出と友達をたくさんつくり無事、小平町に帰ってきました！～

東京都小平市との姉妹都市少年少女交歓交流事業が、8月2日(月)から8月6日(金)まで行われ、両市町の子ども達が交流の輪を広げました。昭和54年にはじまったこの事業は32年目を迎え、1年ごとにそれぞれのまちを訪問し交流しています。

今年は久保田秀生社会教育課長を団長とする小平町の子ども達16名と指導者4名が小平市を訪問し、ブリジストン東京工場、平櫛田中彫刻美術館やディズニールランドの見学を通じて交流を図りました。

訪問中は病気や事故もなく、東京の夏の暑さに耐え元気に交流を深めた子ども達は一段と「たくましく」なって故郷小平町に帰ってきました。



うちの子一番クラブ「救急法」

うちの子一番クラブ「救急法」が8月19日(木)文化交流センターで開かれ、保護者4名が参加し、救急法の知識と実技を学びました。今回、万が一の発作や意識不明の状況等に慌てず対処できる救急救命法を身につけようと、留萌消防組合小平支署の署員2名の協力を得て実施されました。

参加者は、救急救命に関するビデオを観賞後、消防署員の指導のもと、ダミー人形を使って気道確保や心肺蘇生、AEDの操作などの実技を、保護者一人ずつ体験しながら、消防署員に注意すべき点や疑問点などを真剣に確認していました。

最後に、参加者は救急車の中を見学し、消防署員から複雑な救急車両について説明を受けていました。

